

令和2年度 若手砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会の開催案内

公益社団法人 砂防学会 事業部会

近年、河川や砂防に関する技術的課題に対して、より解像度の高い地形計測、より計算精度の高い河床変動計算、家屋や道路考慮した詳細な土砂氾濫計算、流域スケールの土砂動態モデルなどが開発され、検討の幅が広がり、より高度な砂防事業が展開できるようになってきました。しかし、これらの技術の適切な活用は、現地の状況や問題を見る目を養ってはじめて実行できます。そこで、砂防学会では、特定非営利活動法人山の自然文化研究センターと共催で、土石流が発生した直後の山地溪流を対象として山地流域における土砂動態やそのモニタリング、または多種多様な砂防施設の機能と問題点などに関する現地研修会を企画しました。

なお新型コロナウイルス感染症への対応として、今年度は参加者を10名程度とします。

記

若手砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会 —土石流の発生直後の現場から学ぶ—

主催：(公社)砂防学会

共催：NPO法人 山の自然文化研究センター

協力：京都大学・防災研究所附属流域災害研究センター・穂高砂防観測所
国土交通省北陸地方整備局・神通川水系砂防事務所

1. 対象：砂防・土木技術者（若手技術者の皆様の参加を歓迎します）

2. 定員：10名程度

3. プログラム（案）：

10月22日（木） 集合

10月23日（金）

9:00 講義「透過型砂防堰堤の機能と維持管理もしくは神通川水系の砂防事業」

10:00 現地見学「2020年7月豪雨で土石流が発生したヒル谷流域」

11:30 昼食

12:30 現地見学「2019年8月に発生した土石流を捕捉した白水谷格子堰堤」

16:00 解散

4. 実施場所：京都大学防災研究所附属流域災害研究センター穂高砂防観測所
（高山市奥飛騨温泉郷中尾）

アクセス：

最寄りバス停は中尾高原（足湯前）（もしくは中尾高原口）

- ・ JR高山駅からレンタカーで約1.5時間、路線

バスで約1.5時間

- ・ 新宿から高速バス→平湯温泉で乗り換え→路線バス
- ・ JR富山駅からレンタカーで約2時間、特急バスで2.5時間
- ・ 富山空港からレンタカーで約1.5時間、特急バスで2時間

5. 費用：

- | | |
|-------------|---------------|
| ① 参加費 | 無料 |
| ② 保険料 | 実費 |
| ③ 宿泊費 | 実費 |
| | (11,000円/泊程度) |
| ④ その他（昼食代等） | 実費 |

6. 申込み方法：

下の申し込み先メールアドレスまでご連絡ください。準備の都合上、申し込み期限を10月9日（金）とさせていただきます。応募多数の場合は、これまでの研修会への参加経験の有無や所属先などを勘案して主催者側で参加者を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

7. 申し込み・問い合わせ先（事業部会担当）：

京都大学防砂研究所 穂高砂防観測所
宮田 秀介
E-mail: miyata.shusuke.2e@kyoto-u.ac.jp
TEL: 0578-89-2154

以上